



# 明德中学校区小中一貫だより



呉市立明德中学校・明德小学校 令和6年1月10日

“10年に一度の暖かさ”となった新春を迎えました。今年の干支である辰年は「陽の気が動いて万物が振動するため、活力旺盛になって大きく成長し、形が整う年」だといわれています。いよいよ、1年の締めくくりとなる3学期がスタートしました。小中教職員で研究主題の実現に迫るために、児童生徒の姿から見てきたものを今後へと発展させることができるよう、小中で連携しながら、さらなる教育の質の向上を目指してまいります。

## 【今年度の研究主題】

“つながり”の中で自分を磨き、未来を創り出そうとする子どもの育成  
～ 一人一人の学ぶ喜びを引き出す「個別最適な学び」を通して ～

子供達のもつ可能性や力を最大限に引き出すために、主に次の4点に取り組んでいます。

- ① 心身の発達の段階や特性を踏まえた「個別最適な学びと協働的な学びの充実」
- ② 多様な他者と協働した探究的な学びを通じた  
「地域の構成員の一人としての参画意識及び自己有用感の育成」
- ③ 地域の災害リスクを踏まえた「防災教育の深化」
- ④ 共感的な人間関係と感情コントロールのスキルを育む「SELの活用」

今年度は上記の4つの目標を実現するために、小中合同で2部会を設け、取組を進めています。



## 【2学期の取組より】

### ★ 10月18日(水) 中学校 乗り入れ ダンス「音戸の舟唄」 ★



10月18日(水)に、明德中学校の1年生と2年生が伝統として取り組んでいるダンス「音戸の舟唄」を小学生に披露しました。速いリズムに合ったダンスから伝わる躍動感、また力強い動きに、5・6年生は心を惹きつけられていました。「いつか自分達も、中学生のようにかっこよく踊りたい」「早く中学生になって、一緒にダンスをしてみたい」など、意気込みを新たにしました。体育大会や文化発表会などに向け、これまで多くの練習を積み重ねたからこそその成果。小中で“明德の伝統”をつなげる取組を行なっています。



これぞ“明德の伝統”中学生の勇姿に感動



栗栖 楓先生によるダンス指導(5・6年生)

### ★ 11月8日(水) 【明德中学校区保小中合同避難訓練】 ★



6年生が園児の手を引き、高台に避難

中学生が手を添え、防災グッズづくり



11月8日(水)に、地震・津波を想定した『明德中学校区保小中合同避難訓練』を実施しました。今年度は、地域の方にも協力いただき、明德保育園の年長園児、明德小学校の児童は高台にある明德中学校に素早く避難することができました。いつ起こるか分からない地震…。津波の危険が迫った時、より早く高台へと避難することが大切な命を守ることに繋がります。いざという時、訓練での学びを生かしてほしいと思います。

避難先の明德中学校では、消防署や呉市危機管理課の方にご指導いただきながら、火災が発生した場合を想定し、煙中訓練を行いました。“低い姿勢”“壁づたい”に避難する、これらが命を守るポイントであることを教えていただきました。新聞紙を使ったスリッパなどの防災グッズ、段ボールベッド作りも体験しました。

中学生のリード、そして温かいアドバイスを受けながら、災害について多くの学びを得た1日となりました。



実際に煙の中へ「煙中訓練」の様子

みんなで協力して「段ボールベッド」づくり



### 11月29日(水) 小中一貫教育全体会

明德中学校2年生による理科「雲のでき方と前線」の授業研究を行いました。令和5年度・6年度の2年間の指定を受けている「小中で創る『未来の学び』実践事業」では、何を・どのようにすれば、児童生徒が予測のつかない、激動の未来を生き抜くことができるか、小中教職員で「主体性」をテーマに共通理解を図り、今後も研修を進めていきます。

